

令和7年度 学校評価のまとめ【生徒】

1. 回答数（回答率）

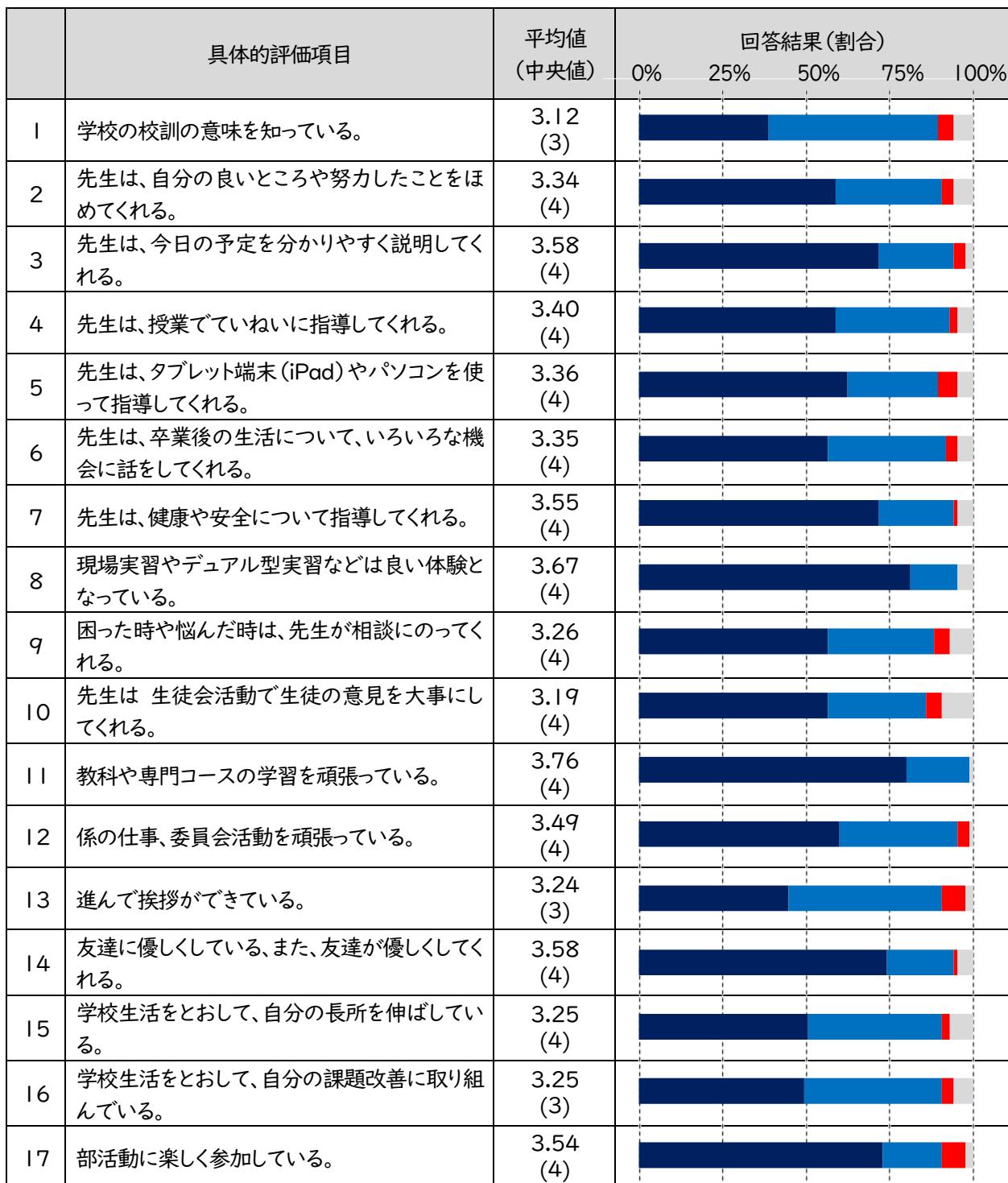
1年	2年	3年	全体
30/33 (90.9%)	28/28 (100%)	27/28 (96.4%)	85/89 (95.5%)

2. 評価（4件法：表上部の数字は評価点数）

4	3	2	点数化対象外
■ はい	■ だいたい	■ いいえ	■ わからない

3. 各評価項目の回答結果（平均値及び中央値については、「わからない」を除外した値）

(1) 教育活動



(2) 教育環境

	具体的評価項目	平均値 (中央値)	回答結果(割合)				
			0%	25%	50%	75%	100%
18	学習に必要な施設、設備が十分そろっている。	3.19 (4)					
19	学校は安全面で十分に気を配っている。	3.48 (4)					

(3) 開かれた学校

	具体的評価項目	平均値 (中央値)	回答結果(割合)				
			0%	25%	50%	75%	100%
20	学校は地域の人たちとの学習の機会がある。	3.32 (4)					
21	学校の先生以外の人から教えてもらう機会が多くある。	2.72 (3)					

4. 評価結果の分析

(1) 高評価の項目

	具体的評価項目	平均値	中央値	「はい」の割合	標準偏差
11	教科や専門コースの学習を頑張っている。	3.76	4	80.0%	0.57
8	現場実習やデュアル型実習などは良い経験となっている。	3.67	4	76.3%	0.89
14	友達に優しくしている。また友達が優しくしてくれる。	3.58	4	74.1%	0.94
3	先生は、今日の予定を分かりやすく説明してくれる。	3.58	4	71.8%	0.86

○ 教科や専門コースの学習を頑張っている。【項目 11】

取り組み状況に対する評価の一貫（ばらつきの小ささ）から、生徒の学習意欲が非常に高く、本校の職業教育が充実していること、また生徒の努力を引き出す環境が整っていると考えられる。

○ 現場実習やデュアル型実習などは良い体験となっている。【項目 8】

生徒は、実習の質や機会の提供が将来への準備につながっていると感じていると考えられる。

○ 友達に優しくしている、また、友達が優しくしてくれる。【項目 14】

生徒間の関係性（優しさ・助け合い）が良好で、日常的な相互支援が学校文化として根付き、安心感のある人間関係が形成されていると考えられる。

○ 先生は、今日の予定を分かりやすく説明してくれる。【項目 3】

当日の予定の提示・説明は、全体として高く評価されている。標準偏差が小さめであることから、多くの生徒が一貫して「分かりやすさ」を実感していると考えられる。

(2) 低評価の項目

	具体的評価項目	平均値	中央値	「はい」の割合	標準偏差
21	学校の先生以外の人から教えてもらう機会が多くある。	2.72	3	36.5%	1.40
1	学校の校訓の意味を知っている。	3.12	3	38.8%	1.05

	具体的評価項目	平均値	中央値	「はい」の割合	標準偏差
13	進んで挨拶ができている。	3.24	3	44.7%	0.94
10	先生は生徒会活動で生徒の意見を大事にしてくれる。	3.19	4	56.5%	1.25

○ 学校の先生以外の人から教えてもらう機会が多くある。【項目 21】

最も評価が低い項目であるが、体験や外部講師等との接点に対する実感には個人差が大きく（標準偏差が最大）、その背景には学年やコースによる機会の差が影響していると考えられる。さらに、「わからない」の割合が全項目中で最も高いことから、質問の意図が十分に伝わっていない可能性もあり、質問文の見直しやアンケート実施時の説明が必要だと考える。

○ 学校の校訓の意味を知っている。【項目 1】

肯定率（「はい」 + 「だいたい」）は微増傾向にあるが、校訓の意味の理解や行動への落とし込みが十分でない層が一定数いると考えられる。校訓については、不易であることからその時代に応じて、校長訓話やその他の場面で意味や捉え方を継続的に生徒へ伝える工夫を検討したい。

○ 進んで挨拶ができている。【項目 13】

他者とのコミュニケーションを苦手としている生徒が一定数いることから「進んで」挨拶することができているではなく、「いいえ」と回答していると考えられる。コミュニケーションを苦手とする生徒へも強制ではなく、挨拶が自然に定着するための習慣化を図りたい。

○ 先生は 生徒会活動で生徒の意見を大事にしてくれる。【項目 10】

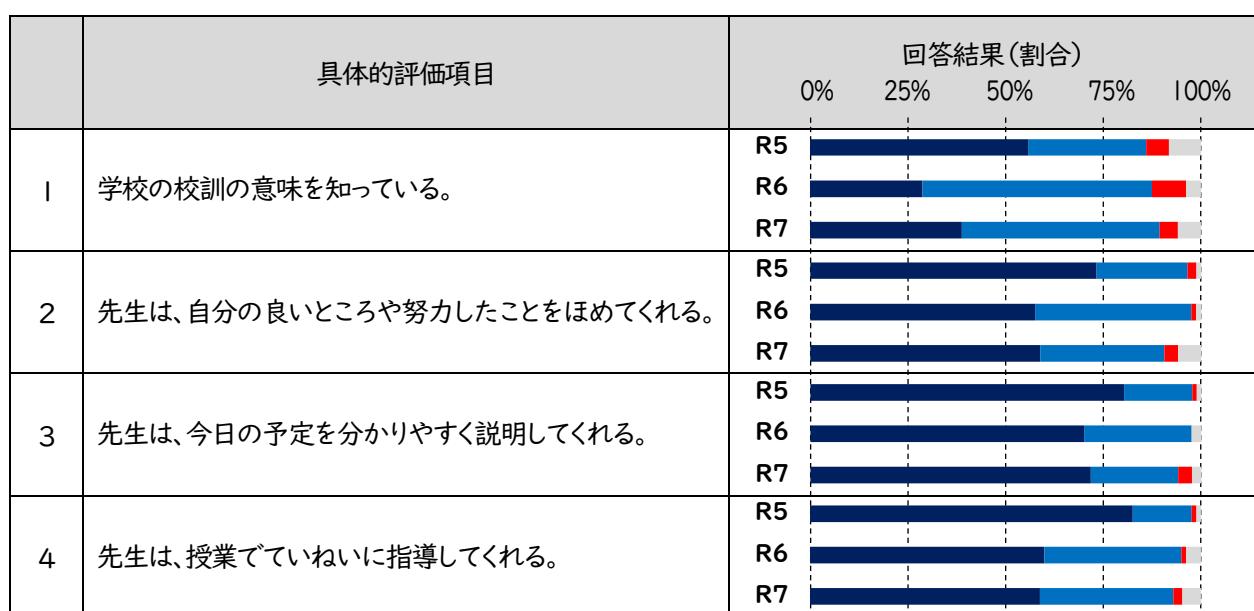
評価にばらつき（標準偏差が高め）があり、生徒会活動で生徒の意見をどのように反映したのか分かりやすく生徒へ伝える工夫が必要である。

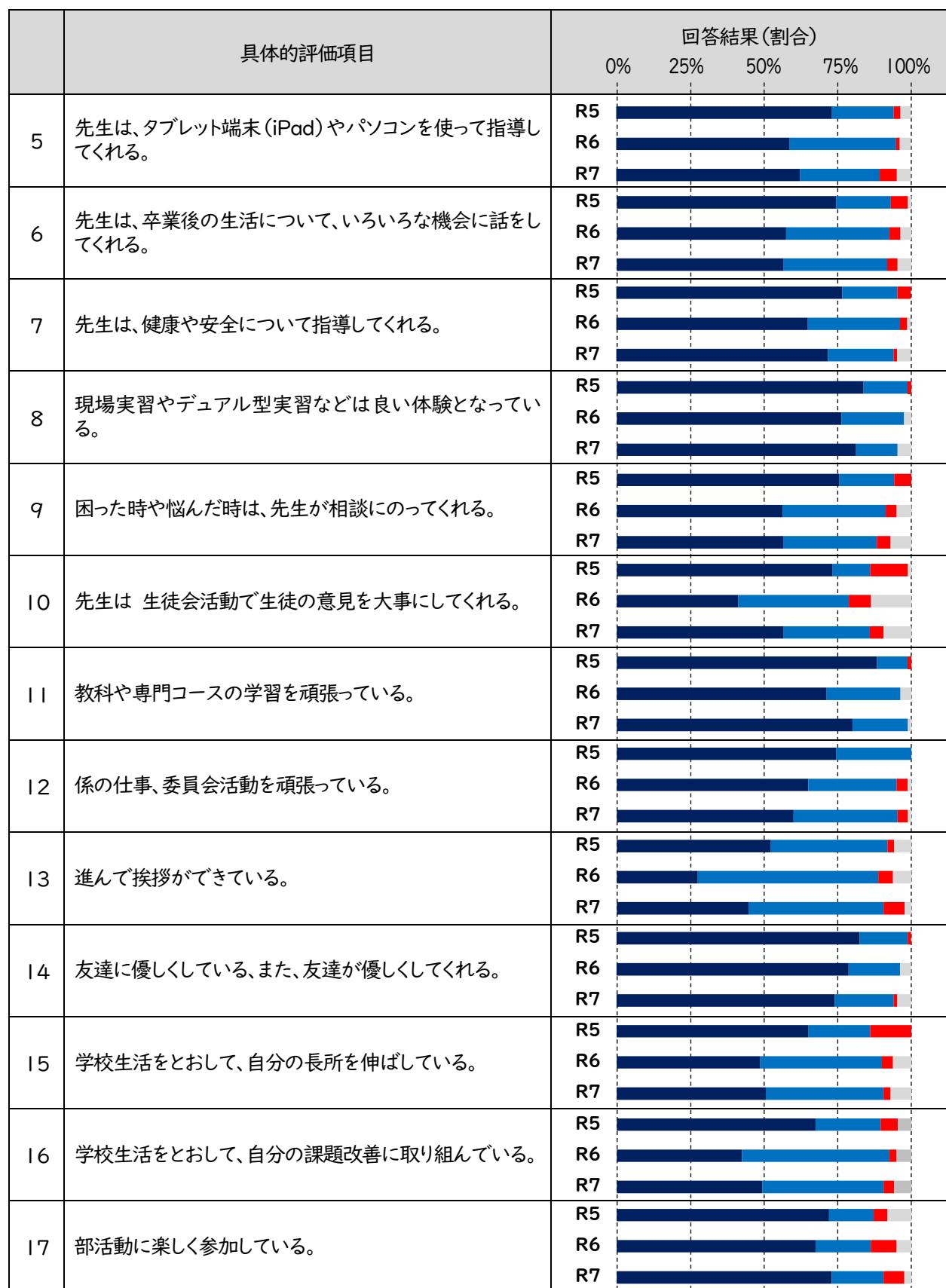
(3) 総合的な考察

本年度の平均値は 3.36、肯定率（「はい」 + 「だいたい」）の平均は 90.8% であり、概ね肯定的な評価が多いことが分かる。また、標準偏差の平均は 1.01 で、昨年度の 0.75 と比較して、今年度は評価の散らばりがやや大きい傾向にある。低評価の項目の改善の方向性としては、質問の意図を分かりやすく伝える工夫や生徒への丁寧な説明、個々に応じて進んで挨拶することの具体的な姿を明確にして、教師と生徒が共有しながら、取り組んでいくことが考えられる。

5. 過年度との比較【参考】

(1) 教育活動





(2) 教育環境

	具体的評価項目	回答結果(割合)				
		0%	25%	50%	75%	100%
18	学習に必要な施設、設備が十分そろっている。	R5				
		R6				
		R7				
19	学校は安全面で十分に気を配っている。	R5				
		R6				
		R7				

(3) 開かれた学校

	具体的評価項目	回答結果(割合)				
		0%	25%	50%	75%	100%
20	学校は地域の人たちとの学習の機会がある。	R5				
		R6				
		R7				
21	学校の先生以外の人から教えてもらう機会が多くある。	R5				
		R6				
		R7				

(4) 回答率推移

